

福島大学×田村市都路町

藤原遥ゼミナール

1.地区の概要と課題

<都路町の概要>

- 阿武隈高原中央の標高約400m
- 福島第一原子力発電所から30km圏内

<頭ノ巣集落の概要>

- 都路町の中心～南西部
- 全長約8km
- 人口 58人
- 高齢化率58.6%(2021年1月時点)

<取組内容>

- ヒアリング、ワークショップ、集落歩き 今年度3回実施

<課題>

- 耕作放棄地の拡大
- 結の機能の低下→住民同士のかかわりが減少

田村市都路町



2.今年度実施した取組みの内容

<これまでの取組み>

- ヒアリング、集落歩き等を通じた実態調査

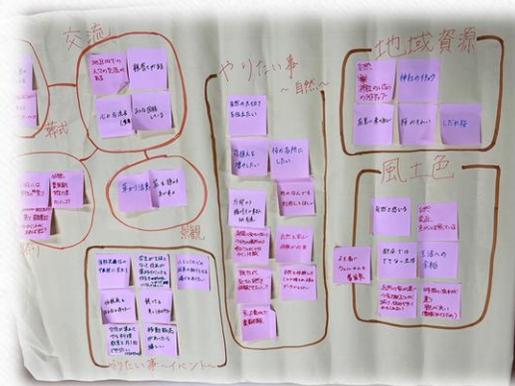
<今年度の取組み>

- 集落計画づくり

ー集落計画の作成に向けたヒアリングやワークショップの実施



- 学生とかかわる機会を提供できた
- 住民同士で集落の課題や将来像を共有する場を設けられた



3.まとめ



<今年度の活動の総括>

- ワークショップを実施して地域の将来について住民の方々から、様々な意見を聞くことができた

<やりがいを感じたこと>

- 住民が集う場を提供することができたこと
- 住民参加型まちづくり計画をことが進めることができたこと



4. 今後に向けて

＜住民と共に集落計画を作る＞

- 地域の将来に向けた目標を設定し、その目標を達成するには地域資源をどのように管理・利用していくかを住民の方々と一緒に考え、計画にまとめる

＜耕作放棄地の利用を考える＞

- 集落の入口にある耕作放棄地について現在出ている利用案を具体的なものにしていく

